

学校関係者評価報告書（2022年度）

前橋医療福祉専門学校

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、前橋医療福祉専門学校の
学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

令和5年6月21日

校長 横田 明子

自己点検・評価責任者 高橋 亮

目 次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的
2. 学校関係者評価の基本方針
3. 学校関係者評価委員名簿
4. 学校関係者評価委員会実施日時
5. 学校関係者評価方法

II. 学校関係者評価結果

1. 教育理念・目標
2. 学校運営
3. 教育活動（重点取組）
4. 学修成果
5. 学生支援
6. 教育環境
7. 学生の受入れ募集（重点取組）
8. 財務
9. 法令等の遵守
10. 社会貢献・地域後見
11. 国際交流

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

自己点検・自己評価結果の客観性・透明性を高めると共に、学校関係者評価委員会の設置により継続的な連携協力体制を確保し、学校運営の更なる改善を図ることを目的とする。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員会 出席者

区 分	氏 名	所 属 (備 考)
業界関係者	八木 啓輔	住宅型有料老人ホーム花みづき新町駅前 施設長
卒業生	飯塚 美咲	前橋医療福祉専門学校 医療秘書学科 卒業生
保護者	佐藤 亜矢	前橋医療福祉専門学校 作業療法学科 3年 保護者

※敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：令和5年6月14日（水） 13：00～17：00

場 所：前橋医療福祉専門学校 小研修室

5. 学校関係者評価方法

2022年度の自己点検・自己評価報告書に基づき、評価項目の結果および課題、改善方策について以下の視点から評価を行った。なお各評価は4段階に区分している。

①自己点検・自己評価結果が適切かどうか

②背景や課題への認識が適切かどうか

③改善方策としての取組みが適切かどうか

(適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1)

※自己点検・自己評価についても同様に4段階評価となる。

II. 学校関係者評価結果

1. 教育理念・目標

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
・学校における職業教育の特色は何か	4
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	3
・各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

教育理念、育成人材像の周知に併せて各学科が関係業界の進歩に対応できるよう教育をしていかなければならない。また同学科を保有する他校も増えていることから、教育内容、実習内容を充実させることで、他校との差別化を明確にしたい。

具体的には、関係業界からの情報収集を密にすることで、よりリアルな情報を教育に落とし込み、本校が重視する人間性豊かな人材の育成と併せて推進していきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
① 自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
② 背景や課題への認識が適切かどうか	4
③ 改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員会からのご意見)

各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。

2. 学校運営

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
・運営方針や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	3
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	3
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	3
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

効率的な組織運営、人的資源管理を徹底すること、関係業界や地域に対する情報公開が課題となる。組織運営には個々の能力を適切に判断し、活用できる管理職の存在が必須であり、管理職者の直接指導機会を増やしていく。並行して能力開発の一環で各種研修会等への参加も積極的に促していく。またホームページや SNS を活用した情報公開を継続する。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
① 自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
② 背景や課題への認識が適切かどうか	4
③ 改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員会からのご意見)

- ・個々の能力を適切に判断し、活用することは大事だが、部署異動やプロジェクト参加を通じて能力開発に努めることも重要なのではないか。
- ・教職員が管理職を目指したくなるような仕組みをつくって欲しい。

3. 教育活動（重点取組）

（自己点検・自己評価における評価）

評価項目	4段階評価
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
・関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
・授業評価の実施・評価体制はあるか	4
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

（自己点検・自己評価における課題認識や改善方策）

教員の教育力や学生指導能力に差があることが引続きの課題となる。その課題には、授業準備や学生対応に時間が割かれていることが原因の一つとなり、初年度教育の不足と共に改善方策を講じたい。

具体的には、定期的な学内研修の実施と共に、授業評価アンケートと授業参観の実施により指導内容の確認とフィードバックから改善を促していく。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
① 自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
② 背景や課題への認識が適切かどうか	4
③ 改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員からのご意見)

各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。

4. 学修成果

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・就職率の向上が図られているか	4
・資格取得率の向上が図られているか	3
・退学率の低減が図られているか	2
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

国家試験合格率の向上は学科にもよるが重要課題と捉えている。また初年度教育の不足を(3. 教育活動)における課題に挙げているが、入学当初より学生への声掛け等を通じて、学習理解度の把握に努め、生活と学業両面へのきめ細やかなサポートを充実させる必要がある。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
① 自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
② 背景や課題への認識が適切かどうか	3
③ 改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・国家試験合格率については全国平均値や前年度との対比ではなく、具体的な目標数値を各学科が設定することでオープンな運営を目指して欲しい。
- ・学生生活やプライベートが学業に影響するケースが増えているように感じ、教員の役割が今後さらに増えていくように感じる。
- ・卒業生が多いことも本校の良い点である為、卒業生との関わりを大事にして欲しい。

5. 学生支援

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
・学生相談に関する体制は整備されているか	4
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
・学生の生活環境への支援は行われているか	3
・保護者と適切に連携しているか	4
・卒業生への支援体制はあるか	3
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

教育訓練給付や修学支援制度により教育環境や経済的な支援体制の整備は進んでいるが、僅かながら経済的理由で学業を継続できない学生もいる。(4. 学修成果)の改善方策と同様に生活と学業両面へのきめ細やかなサポートを充実させる必要がある。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
① 自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
② 背景や課題への認識が適切かどうか	4
③ 改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員会からのご意見)

- ・高等学校とのキャリア教育連携事業の実施は、学生募集や広報活動としても良い影響を及ぼすと感じ、今後より多くの高等学校に関係を拡大して欲しい。

6. 教育環境

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について 十分な教育体制を整備しているか	4
・防災に対する体制は整備されているか	4

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

前年度の課題認識や改善方策と同様に、施設・設備の経年劣化は課題であり、早期の発見・導入により最新の施設・設備へと随時更新していきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
① 自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
② 背景や課題への認識が適切かどうか	4
③ 改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員会からのご意見)

- ・Wi-Fi 整備による教育的効果は数値化こそ難しいが、具体的にどのように活用したのか、また今後どのような活用を見込めるのかを議論し、積極的に展開して欲しい。

7. 学生の受入れ募集（重点取組）

（自己点検・自己評価における評価）

評価項目	4段階評価
・学生募集活動は、適正に行われているか	3
・学生募集活動において、教育成果は伝えられているか	3
・学納金は妥当なものとなっているか	4

（自己点検・自己評価における課題認識や改善方策）

学生募集活動は本校の重点取組となっており、学科間での定員充足率の格差が課題となっている。（5. 学生支援）にある高等学校とのキャリア教育連携事業のように、進学希望者の裾野を広げる活動と共に、既に希望学科が決定している高校生に対して本校を選択していただけるよう、広報面からのアプローチを増やしていきたい。

（学校関係者評価委員会における評価）

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	4

（学校関係者評価委員からのご意見）

- ・募集課題のある学科に特化したオープンキャンパスを試験的に実施して欲しい。
- ・オープンキャンパス参加者に配布しているノベルティグッズ（バッグやTシャツなど）を在校生にも配布したらどうか。
- ・高校生と年齢の近い在校生が企画を立案し、実際に運営まで行うオープンキャンパスも検討して欲しい。

8. 財務

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	3
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
・財務について会計監査が適正に行われているか	4
・財務情報公開の体制準備はできているか	2

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

より強固な財務基盤を築いていく為に、教職員の意識、その材となるタイムリーな情報共有が必要である。引続きの課題である財務情報公開の体制準備と共に改善をしていきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	3

(学校関係者評価委員会からのご意見)

各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。

9. 法令等の遵守

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	3
・自己評価結果を公開しているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

個人情報を扱うことのリスク意識の醸成も大事ではあるが、過度なリスク意識ではなく適切な管理ができるように指導していきたい。また授業や学生募集活動等の使用資料に関係する権利なども、個人情報と等しくリスク意識の醸成を図りたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員からのご意見)

各項目の評価について、委員からの意見・指摘等はなく、自己評価が妥当であるとの評価を受けた。

10. 社会貢献・地域貢献

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
・地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

新型コロナウイルスの影響下において社会貢献・地域貢献を模索してきたが、今後はW I T Hコロナ時代における新しいボランティア活動と参加方法を検討していきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・前橋市との連携をはじめ本校の地域貢献を知ることは卒業生の立場でも喜ばしいこと。
- ・社会や地域への貢献は大事であると思うが、在校生に対しても授業日以外の学校施設の開放（教室や図書室）を検討して欲しい。
- ・学生のボランティア活動を奨励していく為にも、参加の動機付けに注力して欲しい。

1 1. 国際交流

(自己点検・自己評価における評価)

評価項目	4段階評価
・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	3
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	3

(自己点検・自己評価における課題認識や改善方策)

在留資格における認定申請結果（交付率）に課題こそあるが、本校日本語学科の入学希望者は増えている状況である。今後も新規エージェントの開拓を推進しながら、申請結果に対しての傾向と対策を講じていきたい。

(学校関係者評価委員会における評価)

評価視点	4段階評価
①自己点検・自己評価結果が適切かどうか	4
②背景や課題への認識が適切かどうか	4
③改善方策としての取組みが適切かどうか	4

(学校関係者評価委員からのご意見)

- ・入国制限の緩和により日本語学校の入学者も増えている為、近隣の日本語学校との関係強化に努めて欲しい。
- ・留学生数が増えることで一人一人のフォローが手薄にならないように気を付けて欲しい。
- ・本校に在学する留学生間で良い関係が築けるように、学校としてもコミュニティづくりを授業やイベントを通じて推進して欲しい。